

第14回定時総会議案書



令和8年5月26日（火）

（於） ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿
けやきホール

公益社団法人 鈴鹿法人会

定時総会次第

令和8年5月26日（火）

1. 開 会 の 辞
2. 来 賓 紹 介
3. 会 長 挨拶
4. 出席会員確認報告
5. 議 長 選 出
6. 議事録署名人選出
7. 議 事

【 審議事項 】

第1号議案 令和7年度事業報告承認の件

第2号議案 令和7年度収支決算承認の件

【 報告事項 】

令和8年度 事業計画書並び収支予算書について

8. 表 彰 式
優良従業員表彰
9. 来 賓 祝 辞
10. 閉 会 の 辞

【第1号議案】

令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

概要

公益社団法人鈴鹿法人会は、よき経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営および社会の健全な発展に貢献しています。

その事業活動につきましては、会員の研鑽、税のオピニオンリーダーおよび地域社会への貢献を三本柱とし、租税教育や社会貢献活動等に積極的に取り組んでおります。

事業活動

I 公益目的事業

1. 税を巡る諸環境の整備改善等を図ることを目的とする事業【公1】

(1) 税知識の普及と納税意識の高揚に関する事業 [公1-1]

次世代を担う児童生徒に税の仕組みを理解してもらうため、租税教育の充実に努めた。

広報誌「すずかめ」は年2回発行（各回約2,100部）し、鈴鹿税務署等から税に関する情報等の提供を受け、毎回積極的に掲載した。

① 税務研修会

税に関する情報をテーマ（本年度は「所得税の基礎控除の見直し」等）に、全支部で税務研修会を開催した。

② ホームページおよび広報誌による税情報の発信

ホームページに活動状況や税に関する情報等をタイムリーに掲載し、スマートフォンにも対応したホームページにリニューアルを行った。また、会員以外に活動の周知・参加を求めするため、広報誌「すずかめ」は鈴鹿市・亀山市の各施設および金融機関にも配置した。

③ 税制提言活動

税務行政の円滑な執行を目的として、国政の健全な運営の確保に資する事業を行った。

(2) 納税意識の高揚を目的とする事業 [公1-2]

健全な納税者団体として、「税を考える週間」を中心に、税金の仕組みや使われ方を教育する租税教育事業を行って、広く納税意識の高揚に努めた。

① 税制改正に関する提言内容の周知を目的に開催される法人会全国大会（高知県）に参加した。また、全国青年の集い（山梨県）や全国女性フォーラム（北海道）に参加して、全国の租税教育活動などについて学び、情報交換を行った。

② 租税教育事業において、本会では「税を考える週間」の一環として、鈴鹿税務署管内小学校の児童を対象に、鈴鹿市で「親子税金クイズ・映画鑑賞会」を開催した。

女性部会では8月に、亀山市で鈴鹿税務署管内小学校の児童を対象に、「夏休み親子映画会」を開催するとともに、教育委員会および学校への租税教育の丁寧な普及活動を行い、これらの成果により、鈴鹿税務署管内小学校の4年生から6年生の児童を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」の作品の募集では、多くの応募（1,074点）をいただき、優秀作品に鈴鹿法人会長賞等を授与した。

また、青年部会と女性部会では、鈴鹿税務署管内小学校の6年生の児童を対象とした租税教室を実施している。なお、青年部会は独自に制作したパワーポイントおよびうちわを使用した児童参加型の記憶に残る授業方法を実施している。

(3) 税制および税務に関する調査並びに提言に関する事業 [公1-3]

① 税制改正提言事業

会員を中心に税制に関する意見要望を取りまとめて、一般社団法人三重県法人会連合会(以下「三重県連」という。)を通じて、公益財団法人全国法人会総連合(以下「全法連」という。)に上申し、全法連でまとめられた「税制改正に関する提言書」を持参して、地元国会議員、鈴鹿市長、亀山市長、鈴鹿市議会議員および亀山市議会議員に対して要望活動を実施した。

② 全国大会(高知大会)

全国大会は、公益財団法人全国法人会総連合(以下「全法連」という。)が主催し、傘下の都道府県法人会連合会が年一回持ち回りで開催しており、本年度は高知県で開催され、会員からの税制に関する改正要望をとりまとめ参加した。

③ 東海大会(静岡県大会)

東海大会は、東海法人会連合会が主催し、傘下の県法人会が持ち回りで開催しており、本年度は静岡県で開催された。当該事業には、東海4県下の単位会の本会員が集い、税制・財政および地域社会の健全な発展等法人会の目的を達成するため、担当単位会が事業活動の発表を行っている。

④ 全国青年の集い(山梨大会)

全国青年の集いは、全法連が主催し、傘下の都道府県法人会連合会が持ち回りで開催しており、本年度は山梨県で開催され参加した。当該事業には、全国の青年経営者が集い、税財政および地域社会の健全な発展等法人会の目的を達成するための情報や意見の交換および討論を行っている。

⑤ 全国女性フォーラム(北海道大会)

全国女性フォーラムは、全法連が主催し、傘下の都道府県法人会連合会が持ち回りで開催しており、本年度は北海道で開催され参加した。当該事業は、全国の女性経営者が集い、税財政および地域社会の健全な発展等法人会の目的を達成するための情報や意見の交換および討論を行っている。

⑥ 三重県連青年部会連絡協議会情報交換会

情報交換会は、三重県連が主催し、傘下の単位会が持ち回りで主管し開催しており、本年度は伊勢市で開催され参加した。当該事業は、県内8単位会の青年部会員が集い、税財政および地域社会の健全な発展等法人会の目的を達成するための情報や意見交換および討論を行っている。

《事業の詳細》

<本会事業>

開催日	事業名	内容
7.10.16	第41回法人会全国大会	高知大会
7.11.3	親子税金クイズ・映画観賞会	小学生を対象とした税金〇×クイズ
	税務研修会	所得税の基礎控除の見直し等について

開催日	事業名	内容
7. 11. 18 7. 11. 20 7. 11. 21 7. 11. 25	玉垣・白子支部合同 平田支部 東部支部 西部・鈴峰支部 神戸支部	鈴鹿税務署法人課税第一部門 統括国税調査官 藤村 大輔 氏
7. 11. 25	税制改正提言活動	鈴鹿市長、市議会議長
7. 11. 26	税務研修会 亀山支部	「所得税の基礎控除の見直し等について」 鈴鹿税務署法人課税第一部門 統括国税調査官 藤村 大輔 氏
7. 11. 27	税制改正提言活動	地元国会議員 2 名、亀山市長、市議会議長
8. 2. 16	税制セミナー	東京（全法連）

<青年部会事業>

開催日	事業名	内容
7. 5. 9	租税教室	鈴鹿・郡山小学校 (6年生・1クラス)
7. 5. 12	租税教室	鈴鹿・愛宕小学校 (6年生・3クラス)
7. 5. 13	租税教室	亀山・川崎小学校 (6年生・2クラス)
7. 5. 21	租税教室	鈴鹿・清和小学校 (6年生・1クラス)
7. 5. 22	租税教室	鈴鹿・庄野小学校 (6年生・2クラス)
7. 5. 26	租税教室	亀山・亀山西小学校 (6年生・学年全体)
7. 5. 27	租税教室	鈴鹿・箕田小学校 (6年生・2クラス)
7. 6. 3	租税教室	亀山・井田川小学校 (6年生・4クラス)
7. 6. 4	租税教室	鈴鹿・玉垣小学校 (6年生・学年全体)
7. 6. 6	租税教室	亀山・亀山東小学校 (6年生・3クラス)
7. 6. 12	租税教室	鈴鹿・桜島小学校 (6年生・3クラス)
7. 6. 17	租税教室	鈴鹿・若松小学校 (6年生・1クラス)
7. 11. 20 ～11. 21	第 39 回法人会全国青年の集い	山梨大会
8. 1. 14	租税教室	鈴鹿・神戸小学校 (6年生・3クラス)
8. 1. 16	租税教室	鈴鹿・鈴西小学校 (6年生・1クラス)

<女性部会事業>

開催日	事業名	内容
7. 5. 14	租税教室	鈴鹿・鼓ヶ浦小学校 (6年生・1クラス)
7. 5. 23	租税教室	亀山・亀山南小学校 (6年生・1クラス)
7. 5. 30	租税教室	鈴鹿・井田川小学校 (6年生・1クラス)
7. 6. 9	租税教室	鈴鹿・椿小学校 (6年生・1クラス)
7. 6. 9	租税教室	亀山・昼生小学校 (6年生・1クラス)
7. 6. 26	租税教室	鈴鹿・庄内小学校 (6年生・1クラス)
7. 7. 3	租税教室	亀山・野登小学校 (6年生・1クラス)

開催日	事業名	内容
7. 8. 24	夏休み親子映画会	税金クイズの掲示・税の啓発グッズ配布
7. 9. 18	第19回全国女性フォーラム	北海道大会
7. 11. 19	税務研修会・講習会	税務研修会 「所得税の基礎控除の見直し等について」 鈴鹿税務署法人課税第一部門 統括国税調査官 藤村 大輔 氏 講習会 「リース作り」 花職人工房 日高 健 氏
7. 11. 10 ～11. 24	税金展・税の作品表彰式 (絵はがきコンクール)	鈴鹿ハンターセンターコート 優秀作品の表彰式・作品展示 選考：鈴鹿法人会役員と鈴鹿税務署で厳正に審査

2. 地域の経済社会環境の整備改善等を図るための事業【公2】

地域社会への貢献を目的とする事業 [公2-2]

(1) 特別養護老人ホーム慰問と車椅子・寄せ植えの贈呈

女性部会では、本年度14箇所の各施設に車椅子1台と寄せ植えを贈呈した。

(2) 鈴亀ジュニアバレーボール大会

鈴鹿市・亀山市の小学生がスポーツを通して交流する場であり、青少年の健全育成を目指した本大会は参加者も多く、法人会長杯として本年度も協賛し開催した。

《事業の詳細》

開催日	事業名	内容
7. 9. 23	鈴亀ジュニアバレーボール法人会長杯	女性部会主催 12チーム参加
7. 12. 11	特別養護老人ホーム慰問と車椅子・寄せ植えの贈呈	女性部会主催 贈呈先14施設 慰問と車椅子・寄せ植え贈呈

II 収益事業

会員の福利厚生等に資する事業【収1】

(1) 各種保険制度の普及・推進

福利厚生制度の充実と経営の安定化のため、全法連の制度である企業向けの経営者大型保障制度、災害に備えるためのビジネスガードおよび個人向けのがん保険制度・医療保険制度の普及・推進に努めた。

(2) 生活習慣病予防検診

会員企業の経営者、従業員、家族を対象に、健康な日々を送るための生活習慣病予防検診を一般財団法人全日本労働福祉協会三重県支部により実施した。

《事業の詳細》

開催日	事業名	内容
7. 9. 5～6	生活習慣病予防検診	受診者数48名
8. 3. 14～15	生活習慣病予防検診	受診者数48名

Ⅲ その他の事業（相互扶助等事業）

1. 会員の交流に資するための事業【他1】

(1) 会員増強事業

- ① 組織基盤強化および維持を図るため、加入目標の設定や諸施策を実施し、新規会員の加入勧奨を推進した。

《事業の詳細》

開催日	事業名	内 容
7. 5. 9	新設法人説明会	鈴鹿税務署共催（神戸コミュニティセンター）

② 情報交換会並びに理事・支部役員・部会員交流

総会終了後、本年度の活動方針や重点施策等につき協議を行い、目標実現に向け意思統一を図ることを目的に情報交換会を開催した。また、本会の運営に携わっている役員、支部役員並びに部会役員等が、会議等の後、本年度の活動方針、重点施策等について協議を行い、目標実現に向け意思統一を図ることを目的に交流会を開催した。

《事業の詳細》

開催日	会議名	内 容
7. 5. 26	第13回定時総会后 情報交換会	鈴鹿サーキット THE DINING
7. 8. 7	理事会後 懇親会	ホテルグリーンパーク鈴鹿
7. 12. 3	女性部会理事会後 懇親会	椿会館
8. 1. 22	新春講演会后 懇親会	ホテルグリーンパーク鈴鹿

(2) 会員支援事業

① 支部・部会施設等見学会

会員以外の者も募集し、経営支援のための施設見学と参加者の交流を深めた。

《事業の詳細》

開催日	事業名	内 容
7. 9. 3～4	青年部会 視察研修	京都府施設見学
7. 9. 13	西部・鈴峰支部 合同視察研修	愛知県企業見学
7. 11. 13	神戸・東部支部 合同視察研修	愛知県企業見学
8. 2. 19	女性部会 視察研修	大阪府施設見学・体験
8. 3. 2	白子支部 視察研修	奈良県施設見学

② 支部・部会活動

参加者の交流を深めること等を目的として、ゴルフコンペや研修会等を実施した。

《事業の詳細》

開催日	事業名	内 容
7. 10. 23	亀山支部 ゴルフコンペ	支部ゴルフコンペ

Ⅳ その他本会の目的を達成するために必要な会議等

<本 会>

開催日	会議名	内容
7. 4. 7	監事監査	第14期会計監査
7. 4. 14	総務委員会	定時総会提出議案の審議
7. 4. 24	正副会長会議	理事会・定時総会提出議案の審議等
7. 5. 7	常任理事会・理事会	定時総会提出議案の審議
7. 5. 13	税制委員会	令和8年度税制改正提言事項等
7. 5. 26	第13回定時総会	令和6年度事業報告・収支決算の審議、令和7年度事業計画・収支予算の報告
7. 5. 26	臨時理事会	代表理事・業務執行理事の選定
7. 6. 17	支部長会議	組織増強・支部運営
7. 6. 17	臨時理事会	公益法人の役員
7. 6. 20	広報委員会	令和7年度事業計画・広報誌「すずかめ25号」編集
7. 7. 1	組織委員会	会員増強運動の施策
7. 7. 1	正副会長会議	令和7年度事業計画
7. 7. 17	研修委員会	令和7年度事業計画
7. 7. 23	広報委員会	広報誌「すずかめ25号」校了
7. 8. 7	理事会	令和7年度事業計画・業務執行役員の執行状況の報告
7. 10. 14	組織委員会	会員増強運動
7. 10. 21	研修委員会	税を考える週間事業
7. 11. 14	広報委員会	広報誌「すずかめ26号」編集
8. 1. 13	広報委員会	広報誌「すずかめ26号」校了
8. 1. 22	新春講演会	「査察調査の概要」 鈴鹿税務署長 大門武司 氏
8. 1. 26	正副会長会議	今後の行事予定
8. 2. 17	厚生委員会	会員増強運動・福利厚生制度推進策
8. 3. 12	総務委員会	令和8年度事業計画・収支予算
8. 3. 19	正副会長会議	理事会提出議案の審議等
8. 3. 25	理事会	令和8年度事業計画・収支予算案、定時総会開催案

<支部>

開催日	会議名	内容
7. 7. 4	白子支部 役員会	今年度の事業活動、税務研修、会員増強
7. 7. 10	東部支部 役員会	新支部役員、各委員会・部会報告、今年度事業、会員増強
7. 7. 10	西部支部 理事会	本年度事業計画
7. 7. 10	亀山支部 役員会	会員増強、研修旅行
7. 7. 24	神戸支部 役員会	各委員会・部会報告、今年度事業、会員増強
7. 8. 28	平田支部 役員会	本年度事業計画・本年度事業予算
7. 9. 25	白子支部 役員会	税務研修会、研修視察旅行、会員増強
7. 10. 6	東部支部 役員会	研修旅行、税務研修会
7. 12. 15	白子支部 役員会	研修視察旅行、委員会報告、会員増強

開催日	会議名	内容
8. 3. 19	亀山支部 役員会	事業年度の事業計画

<青年部会>

開催日	会議名	内容
7. 4. 17	定例会	定時総会、租税教室、
7. 5. 26	第13回定時総会	令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画・収支予算案
7. 6. 19	定例会	事業活動報告、
7. 7. 17	定例会	事業活動報告、研修視察旅行
7. 8. 21	定例会	事業活動報告、研修視察旅行、税を考える週間記念事業
7. 10. 30	定例会	事業活動報告、鈴鹿税務署長との懇談会
7. 12. 19	定例会	事業活動報告
8. 1. 29	定例会	
8. 2. 19	定例会	令和7年度事業
8. 3. 26	定例会	令和7年度事業

<女性部会>

開催日	会議名	内容
7. 4. 24	総務委員会	定時総会提出議案等、研修旅行
7. 4. 24	理事会	定時総会提出議案
7. 5. 19	鈴鹿市校長会訪問	「絵はがきコンクール等」への協力依頼
7. 5. 26	第13回定時総会	令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画・収支予算案
7. 6. 3	厚生委員会	令和7年度事業計画
7. 6. 4	広報委員会	令和7年度事業計画
7. 6. 4	税制委員会	令和7年度事業計画
7. 6. 9	研修委員会	令和7年度事業計画
7. 6. 9	組織委員会	令和7年度事業計画
7. 6. 23	亀山市校長会訪問	「絵はがきコンクール等」への協力依頼
7. 6. 27	総務委員会	各委員会報告、令和7年度事業計画
7. 7. 23	玉垣支部会	令和6年度事業報告と会員親睦
7. 8. 4	総務委員会	夏休み親子映画会等
7. 9. 16	税制委員会	絵はがきコンクールの審査
7. 10. 9	研修委員会	カメヤマローソクタウン視察体験他
7. 12. 3	理事会	事業報告 署長講演「査察調査の概要」 鈴鹿税務署長 大門武司 氏
7. 12. 11	厚生委員会	寄せ植え講習会
8. 2. 9	総務委員会	今後の事業、支部活動費・年度末報告等
8. 2. 12	平田・西部・鈴峰支部会	バスケット作り体験

開催日	会議名	内容
8. 3. 3	亀山支部会	令和7年度事業報告、令和8年度事業計画
8. 3. 9	神戸支部会	「おいしい紅茶の淹れ方」 他 講師：紅茶マイスター 小坂美香 様
8. 3. 17	神戸支部会	令和7年度事業報告、令和8年度事業計画
8. 3. 18	東部支部会	令和7年度事業報告、令和8年度事業計画
8. 3. 25	白子支部会	令和8年度事業計画

<三重県法人会連合会>

開催日	会議名	内容
7. 5. 12	総務委員会	県連会長表彰（経営者大型総合保障制度）受彰者案、令和6年度事業報告案・収支決算報告案、令和7年度会費額案、第13回通常総会スケジュール案
7. 5. 15	青年部会連絡協議会役員会	全法連青年部会役員会報告、東海青連協「第34回定時総会・情報交換会」
7. 6. 3	税制委員会	令和8年度税制改正要望事項
7. 6. 9	正副会長会議	第40回理事会審議事項等
7. 6. 9	第40回理事会	県連会長表彰・保険会社関係受賞者案、令和6年度事業報告案・収支決算報告案、令和7年度会費額案、第13回通常総会スケジュール案
7. 6. 26	第13回通常総会	令和6年度収支決算報告案、令和7年度会費額案、理事会承認事項の報告
7. 6. 26	第41回理事会	代表理事・委員会委員長（案）承認の件
7. 7. 25	研修委員会	令和7年度事業運営、第80回東海法人会連合会大会（静岡県連担当）開催
7. 7. 28	広報委員会	令和7年度事業計画
7. 8. 8	税制委員会	令和7年度事業計画、要望事項
7. 8. 21	総務委員会	令和7年度事業計画、理事会提出議案の審議等
7. 8. 25	女性部会連絡協議会役員会	東海四県連女連協情報交換会等
7. 9. 2	厚生委員会	保険関係3社状況報告等
7. 9. 3	研修委員会	大規模法人研修会、第80回東海法人会連合会大会（静岡県連担当）開催
7. 9. 9	組織委員会	6月末会員加入状況と年間目標数
7. 9. 10	正副会長会議	県連委員会担当会、第42回理事会審議事項等
7. 9. 10	第42回理事会	東海大会引当金、女性部会情報交換会会費等
7. 9. 29	青年部会連絡協議会役員会	東海青連協「第35回定時総会・情報交換会」、第32回情報交換会（伊勢法人会担当）等
7. 10. 24	青年部会連絡協議会	第32回情報交換会
7. 10. 28	研修委員会	大規模法人研修会（講師：名古屋国税局）
7. 12. 9	女性部会連絡協議会役員会	令和8年度運営等

開催日	会議名	内容
7. 12. 23	研修委員会	令和8年度委員会運営
8. 1. 20	青年部会連絡協議会役員会	第32回情報交換会開、令和8年度運営等
8. 2. 2	青年部会連絡協議会	運営研究会
8. 2. 18	総務委員会	令和8年度収支予算案、第14回「通常総会」開催等
8. 2. 20	厚生委員会	令和7年度収支予算案、第13回「通常総会」開催等
8. 2. 27	広報委員会	令和8年度事業計画案・広報活動等
8. 3. 3	税制委員会	令和8年度事業計画案・令和9年度税制改正要望事項
8. 3. 4	組織委員会	令和8年度委員会運営、会員増強結果報告
8. 3. 16	正副会長会議	第43回理事会審議事項等
8. 3. 16	第39回理事会	全法連・県連功労者表彰候補者推薦、令和8年度事業計画案・収支予算案、第14回通常総会運営方法等

<東海法人会連合会>

開催日	会議名	内容
7. 6. 13	青年部会連絡協議会定時総会・情報交換会	令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画案・収支予算案等
7. 9. 8	第37回定時総会	令和6年度事業報告・収支決算報告、令和7年度事業計画案・収支予算案
8. 3. 6	第80回東海法人会連合会大会	静岡県連担当、研究発表会

V 組織運営

令和7年度から、法人外部の人材を選任する外部理事・外部監事が公益認定基準の1つとなりました。鈴鹿法人会では運営体制の充実を図るため、外部監事を選任し、理事会や監査の際に適切な情報提供を実施しています。

- ① 外部理事：適用除外基準（収益、費用・損失が各3,000万円未満）に該当
- ② 外部監事：橋本 貴好 氏（選任理由：税理士の資格を有し、会計に対する経験・知見を有する点）

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,880,200	13,632,040	248,160
前払金	113,830	33,310	80,520
流動資産合計	13,994,030	13,665,350	328,680
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	24,000,000	24,000,000	0
基本財産合計	24,000,000	24,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,330,000	1,595,950	△ 265,950
周年行事引当資産	1,070,000	1,035,000	35,000
特定資産合計	2,400,000	2,630,950	△ 230,950
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	218,400	218,400	0
敷金	782,000	782,000	0
その他固定資産合計	1,000,401	1,000,401	0
固定資産合計	27,400,401	27,631,351	△ 230,950
資産合計	41,394,431	41,296,701	97,730
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	93,478	113,045	△ 19,567
未払法人税等	80,000	80,000	0
流動負債合計	173,478	193,045	△ 19,567
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,330,000	1,595,950	△ 265,950
固定負債合計	1,330,000	1,595,950	△ 265,950
負債合計	1,503,478	1,788,995	△ 285,517
III 正味財産の部			
1. 基金	0	0	0
2. 指定正味財産	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	39,890,953	39,507,706	383,247
一般正味財産合計	39,890,953	39,507,706	383,247
(うち基本財産への充当額)	(24,000,000)	(24,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,070,000)	(1,035,000)	(35,000)
正味財産合計	39,890,953	39,507,706	383,247
負債及び正味財産合計	41,394,431	41,296,701	97,730

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	番号	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部	1			
1. 経常増減の部	2			
(1) 経常収益	3			
基本財産運用益	4	58,500	480	58,020
基本財産受取利息	5	58,500	480	58,020
特定資産運用益	6	7,242	1,445	5,797
特定資産受取利息	7	7,242	1,445	5,797
受取会費	8	11,248,600	11,512,780	△ 264,180
正会員受取会費	9	11,091,400	11,375,980	△ 284,580
賛助会員受取会費	10	157,200	136,800	20,400
事業収益	11	262,110	284,202	△ 22,092
研修事業収益	12	74,000	63,000	11,000
広報事業収益	13	110,000	110,000	0
福利厚生事業収益	14	78,110	111,202	△ 33,092
会員親睦事業収益	15	0	0	0
受取補助金等	16	9,497,700	9,226,700	271,000
受取県連補助金	17	275,000	100,000	175,000
受取全法連助成金	18	350,000	576,000	△ 226,000
受取全法連助成金振替額	19	8,872,700	8,550,700	322,000
受取負担金	20	1,742,436	996,844	745,592
受取負担金	21	871,436	76,174	795,262
青年・女性部会受取負担金	22	871,000	920,670	△ 49,670
雑収益	23	524,352	447,010	77,342
受取利息	24	9,405	2,185	7,220
雑収益	25	514,947	444,825	70,122
経常収益計	26	23,340,940	22,469,461	871,479
(2) 経常費用	27			
事業費	28	19,363,419	19,135,807	227,612
役員報酬	29	552,000	2,925,600	△ 2,373,600
給料手当	30	5,368,659	2,748,760	2,619,899
退職給付費用	31	181,976	318,826	△ 136,850
福利厚生費	32	840,120	974,338	△ 134,218
会議費	33	1,061,323	1,292,804	△ 231,481
旅費交通費	34	2,192,417	2,086,651	105,766
通信運搬費	35	1,129,713	937,601	192,112
減価償却費	36	0	5,001	△ 5,001
消耗品費	37	1,945,858	1,128,229	817,629
修繕費	38	0	0	0
印刷製本費	39	1,722,559	1,259,502	463,057
賃借料	40	2,169,692	2,146,728	22,964
保険料	41	25,728	29,551	△ 3,823
諸謝金	42	22,274	22,274	0
租税公課	43	16,900	11,600	5,300
支払負担金	44	394,600	575,486	△ 180,886
委託費	45	773,080	1,669,230	△ 896,150
会場費	46	101,720	126,770	△ 25,050
広告宣伝費	47	22,000	22,000	0
表彰費	48	130,500	186,800	△ 56,300
リース料	49	471,795	447,709	24,086
支払手数料	50	195,385	200,494	△ 5,109
雑費	51	45,120	19,853	25,267

科 目	番号	当年度	前年度	増 減
管理費	52	3,978,024	2,794,927	1,183,097
役員報酬	53	48,000	254,400	△ 206,400
給料手当	54	466,839	239,022	227,817
退職給付費用	55	15,824	27,724	△ 11,900
福利厚生費	56	76,053	84,724	△ 8,671
会議費	57	1,725,543	1,154,457	571,086
旅費交通費	58	47,424	6,620	40,804
通信運搬費	59	392,111	252,939	139,172
減価償却費	60	0	434	△ 434
消耗品費	61	46,432	69,279	△ 22,847
修繕費	62	0	0	0
印刷製本費	63	233,777	52,052	181,725
賃借料	64	193,168	211,632	△ 18,464
保険料	65	2,237	2,569	△ 332
支払負担金	66	319,650	101,364	218,286
支払寄附金	67	0	0	0
委託費	68	7,920	7,920	0
会場費	69	7,700	13,150	△ 5,450
渉外慶弔費	70	98,500	103,500	△ 5,000
表彰費	71	214,000	156,500	57,500
リース料	72	41,025	38,931	2,094
支払手数料	73	38,324	16,718	21,606
雑費	74	3,497	992	2,505
経常費用計	75	23,341,443	21,930,734	1,410,709
評価損益等調整前当期経常増減額	76	△ 503	538,727	△ 539,230
当期経常増減額	77	△ 503	538,727	△ 539,230
2. 経常外増減の部	78			
(1) 経常外収益	79			
経常外収益計	80	463,750	0	463,750
(2) 経常外費用	81			
経常外費用計	82	0	0	0
当期経常外増減額	83	463,750	0	463,750
他会計振替額	84	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	85	463,247	538,727	△ 75,480
法人税、住民税及び事業税	86	80,000	80,000	0
当期一般正味財産増減額	87	383,247	458,727	△ 75,480
一般正味財産期首残高	88	39,507,706	39,048,979	458,727
一般正味財産期末残高	89	39,890,953	39,507,706	383,247
II 指定正味財産増減の部	90			
受取補助金等	91	8,872,700	8,550,700	322,000
受取全法連助成金	92	8,872,700	8,550,700	322,000
一般正味財産への振替額	93	△ 8,872,700	△ 8,550,700	△ 322,000
一般正味財産への振替額	94	△ 8,872,700	△ 8,550,700	△ 322,000
III 基金増減の部	95			
基金受入額	96	0	0	0
基金返還額	97	0	0	0
基金期首残高	98	0	0	0
基金期末残高	99	0	0	0
IV 正味財産期末残高	100	39,890,953	39,507,706	383,247

令和7年度 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目		公益事業会計			収益事業会計		法人会計	合 計
		公1	公2	共通	収1	他1		
経常収益	基本財産受取利息	1	0	0	0	0	58,500	58,500
	特定資産受取利息	2	0	0	0	0	7,242	7,242
	正会員受取会費	3	0	0	3,327,420	0	7,763,980	11,091,400
	賛助会員受取会費	4	0	0	47,160	0	110,040	157,200
	研修事業収益	5	0	0	0	0	74,000	74,000
	広報事業収益	6	110,000	0	0	0	0	110,000
	福利厚生事業収益	7	0	0	0	78,110	0	78,110
	受取県連補助金	8	0	0	0	0	100,000	275,000
	受取全法連助成金	9	0	0	0	0	0	350,000
	受取全法連助成金振替額	10	0	0	8,872,700	0	0	8,872,700
	受取負担金	11	0	0	0	0	871,436	871,436
	青年・女性部会受取負担金	12	0	0	0	0	871,000	871,000
	受取利息	13	0	0	0	0	9,405	9,405
	雑収益	14	0	0	0	0	265,000	514,947
	計	15	110,000	0	12,247,280	78,110	1,310,000	9,595,550
事業費	役員報酬	16	270,000	150,000	0	6,000	126,000	552,000
	給料手当	17	2,625,977	1,458,874	0	58,354	1,225,454	5,368,659
	退職給付費用	18	89,010	49,450	0	1,978	41,538	181,976
	福利厚生費	19	410,930	228,293	0	9,131	191,766	840,120
	会議費	20	644,846	184,828	0	7,393	224,256	1,061,323
	旅費交通費	21	1,103,331	77,950	0	5,218	1,005,918	2,192,417
	通信運搬費	22	805,384	171,976	0	6,817	145,536	1,129,713
	減価償却費	23	0	0	0	0	0	0
	消耗品費	24	1,207,941	615,042	0	4,801	118,074	1,945,858
	印刷製本費	25	1,637,201	36,522	0	1,460	47,376	1,722,559
	賃借料	26	1,061,264	589,590	0	23,583	495,255	2,169,692
	保険料	27	12,586	6,991	0	279	5,872	25,728
	諸謝金	28	22,274	0	0	0	0	22,274
	租税公課	29	0	0	0	16,900	0	16,900
	支払負担金	30	236,250	1,250	0	50	157,050	394,600
	委託費	32	726,550	24,750	0	990	20,790	773,080
	会場費	33	98,910	2,810	0	0	0	101,720
	広告宣伝費	34	22,000	0	0	0	0	22,000
表彰費	35	0	130,500	0	0	0	130,500	
リース料	36	230,770	128,205	0	5,128	107,692	471,795	
支払手数料	37	90,328	46,514	0	1,860	56,683	195,385	
雑費	38	24,572	10,930	0	437	9,181	45,120	
計	39	11,320,124	3,914,475	0	150,379	3,978,441	0	19,363,419
管理費	役員報酬	40	0	0	0	0	48,000	48,000
	給料手当	41	0	0	0	0	466,839	466,839
	退職給付費用	42	0	0	0	0	15,824	15,824
	福利厚生費	43	0	0	0	0	76,053	76,053
	会議費	44	0	0	0	0	1,725,543	1,725,543
	旅費交通費	45	0	0	0	0	47,424	47,424
	通信運搬費	46	0	0	0	0	392,111	392,111
	減価償却費	47	0	0	0	0	0	0
	消耗品費	48	0	0	0	0	46,432	46,432
	印刷製本費	49	0	0	0	0	233,777	233,777
	賃借料	50	0	0	0	0	193,168	193,168
	保険料	51	0	0	0	0	2,237	2,237
支払負担金	52	0	0	0	0	319,650	319,650	
委託費	53	0	0	0	0	7,920	7,920	
会場費	54	0	0	0	0	7,700	7,700	
外慶弔費	55	0	0	0	0	98,500	98,500	
表彰費	56	0	0	0	0	214,000	214,000	
リース料	57	0	0	0	0	41,025	41,025	
支払手数料	58	0	0	0	0	38,324	38,324	
雑費	59	0	0	0	0	3,497	3,497	
計	60	0	0	0	0	0	3,978,024	3,978,024
経常費用計	61	11,320,124	3,914,475	0	150,379	3,978,441	3,978,024	23,341,443
退職金取崩収入	62	0	0	0	0	0	463,750	463,750
当期経常増減額	63	△ 11,210,124	△ 3,914,475	12,247,280	△ 72,269	△ 2,668,441	6,081,276	463,247
他会計振替額	64	0	0	0	0	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	65	0	0	0	80,000	0	0	80,000
当期一般正味財産増減額	66	△ 11,210,124	△ 3,914,475	12,247,280	△ 152,269	△ 2,668,441	6,081,276	383,247
一般正味財産期首残高	67	△ 117,893,656	△ 71,023,622	173,952,719	△ 1,826,516	△ 32,897,355	89,196,136	39,507,706
一般正味財産期末残高	68	△ 129,103,780	△ 74,938,097	186,199,999	△ 1,978,785	△ 35,565,796	95,277,412	39,890,953

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、年度末の要支給額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	24,000,000	0	0	24,000,000
小 計	24,000,000	0	0	24,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,595,950	197,800	463,750	1,330,000
周年行事引当資産	1,035,000	35,000	0	1,070,000
小 計	2,630,950	232,800	463,750	2,400,000
合 計	26,630,950	232,800	463,750	26,400,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	24,000,000		24,000,000	
小 計	24,000,000	0	24,000,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	1,330,000			1,330,000
周年行事引当資産	1,070,000		1,070,000	
小 計	2,400,000	0	1,070,000	1,330,000
合 計	26,400,000	0	25,070,000	1,330,000

4. 引当金の明細

引当金の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,595,950	197,800		463,750	1,330,000

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,002,440	3,002,439	1
合 計	3,002,440	3,002,439	1

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金 全法連助成金	全国法人会 総 連 合		9,222,700	9,222,700	0	
補助金 県連補助金	三重県法人会 連 合 会		275,000	275,000	0	
合 計			9,497,700	9,497,700	0	

【参考事項】公益目的事業比率が50%以上であること。

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第15条（公益目的事業比率）

公益法人は、毎事業年度における公益目的事業比率が100分の50以上となるように公益目的事業を行わなければならない。

正味財産増減計算書内訳表（P13）より

科 目		合 計			
		(A)	うち公1 (B)	うち公2 (C)	公1・公2計 (D) (=B+C)
事業費	39欄	19,363,419	11,320,124	3,914,475	15,234,599
管理費	60欄	3,978,024			
経常費用	61欄	23,341,443			

$$\begin{aligned}
 \text{公益目的事業比率} &= \frac{\text{公益目的の事業費 (D)}}{\text{経常費用}} \times 100 \\
 &= \frac{15,234,599}{23,341,443} \times 100 \\
 &= 65.3\% \geq 50\%
 \end{aligned}$$

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	170,021
	預金	普通預金	運転資金として	13,710,179
		北伊勢上野信用金庫 鈴鹿支店		13,710,179
		〃 (青年部会)		0
		〃 (女性部会)		0
		定期預金		0
	前払金			113,830
	仮払金			0
流動資産合計				13,994,030
(固定資産)				
基本財産				24,000,000
	定期預金	北伊勢上野信用金庫 鈴鹿支店	運用益を管理運営 に充当	24,000,000
特定資産				2,400,000
	退職給付引当資産	定期預金 北伊勢上野信用金庫 鈴鹿支店		1,330,000
	周年行事引当資産	定期預金 (株)三十三銀行 神戸支店		1,070,000
その他固定資産				1,000,401
	什器備品	本会事務室	公益、収益、共益	1
	電話加入権	〃	事業および管理運	218,400
	敷金	〃	営目的で使用	782,000
固定資産合計				27,400,401
資産合計				41,394,431
(流動負債)				
	預り金			93,478
	未払法人税等			80,000
流動負債合計				173,478
(固定負債)				
	退職給付引当金			1,330,000
固定負債合計				1,330,000
負債合計				1,503,478
正味財産				39,890,953

監査報告書

令和 8 年 4 月 10 日

公益社団法人 鈴鹿法人会
会長 飯田 隆典 殿

監事

久川 亨

監事

橋本 貴好

私ども監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、計算書類および事業報告並びにこれらの附属明細書を監査し、一般社団法人および一般財団法人に関する法律第99条および同法第124条に基づき、その方法および結果について、下記のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

私どもは、理事会並びに各理事および事務局との意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告の内容について検討いたしました。

さらに、会計帳簿およびこれに関する資料の調査並びに現金、預金通帳等の実地調査を行い、当該事業年度に係る計算書類について、その適正性について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

ア. 事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。